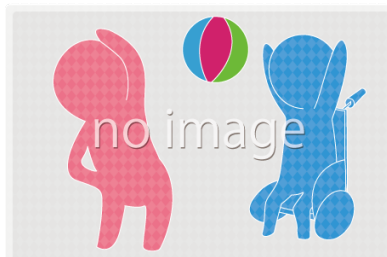


# 君、あれ、それは何cm？

物の長さを図ります。ただ図るのではなく、そこにレクリエーションとして少しゲーム性を持たせて行います。



ジャンル 認知症予防 ゲーム 技術

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度2 所要時間 10分～

性別 男性  女性  どちらも好評です 人数 5人以上

道具 (一人当たり予算0円)

毛糸か紙テープ。はさみ。メジャー(人のウエスト等を計測するようなやわらかい巻き取り式のもの)

注意点・追加ルール

期待効果 考えたり、相談する時間を作る。  
コミュニケーションと脳へのトレーニング。

1 施設内にあるものの長さを図ります。  
説明は2チームに分かれた場合です。

2 相手チームが選んだものの長さを、遠目から見てその長さと同じになるように毛糸を切ります。  
切ったら、長さが同じかどうか比べてみましょう。

3 誤差の少なかったチームにポイントが入ります。  
図るものは施設にあるものならなんでもいいですが、最初は相手チームの参加者の身長を当てましょう。

4 腕の長さや、顔の横幅等、計測することがないようなところを図ることで仲良くできます。

5 また、遠目から見ることで眼球トレーニングにもなり、チームで話し合うことはコミュニケーションになるので、1動作1動作がりハビリ効果を持っています。

6

得点の高かったチームが優勝となります。  
チーム数を増やしてたくさんの糸で比べるとより白熱します。

7

比べる糸が1本より、記録を狙いやすくもなります。  
ウエストや丸い物の長さを図るときにアパレル店用のメジャーを活用してください。  
ついでに健康診断までできてしまいますw